次期 長野県食と農業農村振興計画骨子（案）のイメージ

資料　4

Ⅰ　計画策定の基本的な考え方

1　策定の趣旨　「長野県食と農業農村振興の県民条例」（議員提案条例、平成１８年４月１日施行）の基本理念を踏まえ、食と農業・農村の持続的発展を目指し、方向性を指し示す

2　策定予定年月　平成２５年（３）月

3　計画期間　平成２５年度～２９年度（５年間）

4　進行管理　毎年度、進捗状況について、食と農業農村振興審議会及び地区部会から意見聴取の上、県議会に報告し公表

5　計画の推進　条例に規定された県・県民それぞれの責務・役割により一体となって推進

Ⅱ　食と農業・農村をめぐる情勢

≪現状と課題≫

○新規就農者、農業法人等は増加。一方で、農業従事者の減少・構造改革の遅れによる担い手不足は進行

○県オリジナル品種や県独自ブランド等は増加。一方で、景気低迷等により農家所得は低下、輸出も減少、

○食育、地産地消への関心は高まっている。一方で、食の外部化・簡素化、安全・安心志向は進展

○集落等を中心とした環境保全活動は増加。一方で、農業従事者の減少等により耕作放棄地は増加、野生鳥獣被害も発生

○水田のほ場整備等は計画に沿って進行。引き続き、畑地整備、老朽化した農業水利施設等を整備

≪社会情勢等の変化≫

○人口減少社会の到来

○ＥＰＡ、ＦＴＡ交渉など国際化の進展

○情報・流通の多様化と価値観の変化

○農産物価格の低下と農家所得の減少

○国内外の食品への安全・安心意識の高まり

○雇用・環境保全・移住交流など農業・農村の役割の変化

○自然災害・大規模災害の発生懸念

（参考：現行計画の進捗状況）

○　農業農村総生産額の推移

経済努力目標	H１７年（基準年）	H２１　実績	H２２　実績	H２４年（目標年）
農業農村総生産額（億円）	２，８９９	２，７９２	２，９０８	**３，０００**
農産物産出額	２，６２３	２，７３５	２，７３８	**２，８００**
農業関連産出額	１６９	１６４	１７０	**２００**

○達成指標の進捗（H22 単年度目標に対する達成率）

	50%未満	50～70	70～80	80～90	90～100	100%以上
指標数	3	3	7	7	16	21
割　合	5%	6%	12%	12%	28%	37%

Ⅲ　食と農業・農村の目指す将来像

◆めざす姿

豊かな自然環境を背景とし、本来あるべき食の姿や消費者ニーズの変化などを的確かつ迅速に捉えた上で、様々な課題の克服や新たなステージへ挑戦する機会の創出により、農業者が夢に向かって農業経営に取り組み、多くの人々が本県の農村で暮らし続けたいと感じる信州の農業・農村

Ⅳ　食と農業・農村の振興に関する施策の展開方向

～　基　本　目　標　：○○○○○○○○○○○○○　～

今後の５年間の大きな柱

○　夢に向かって頑張る意欲ある農業者が、長野県農業の中心となる

○　居場所と出番を持つ皆で、食・農村・コミュニティを支える

食・消費者

基本方向１　夢に挑戦する農業

（１）夢ある農業を実践する経営体の育成

≪具体的な施策展開≫
■高い技術と経営力を持つ経営体の育成
■地域農業を支える活力ある組織経営体の育成
■新規就農者の育成　■他産業等からの農業参入の促進

（２）自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産

≪具体的な施策展開≫
■消費者や流通の変化を的確に捉えた農畜産物の生産振興
■自然の力を活かした環境農業の推進　■農畜産物の安全性確保
■信州農産物の生産を支える農地・水・技術

（３）信州ブランドの確立とマーケットの創出

≪具体的な施策展開≫
■信州農畜産物ブランドの確立
■マーケット需要の把握による戦略的な販路拡大と輸出促進
■６次産業化の推進による経営力の強化

農業生産構造目標　等

基本方向２　皆が暮らしたい農村

（１）農村コミュニティの維持・構築

≪具体的な施策展開≫
■農村のコミュニティ力の強化
■コミュニティ機能強化の促進

（２）地産地消と食に対する理解・活動の促進

≪具体的な施策展開≫
■地産地消の推進による信州農畜産物への共感
■食育の推進による豊かな人間形成と健康長寿

（３）美しい農村の維持・活用

≪具体的な施策展開≫
■農山村の多面的機能の維持と環境保全
■農村資源の利活用の推進
■安全で快適な農村環境の確保

Ⅴ　重点戦略

Ⅵ　地域別の発展方向